

教育委員会点検評価委員会（記録）

平成28年9月8日（木）

14:30～16:00

井波庁舎301会議室

出席者 谷口委員、長谷川委員、山本委員、高田教育長、河合職務代理者、
豊川部長、酒井次長、工藤課長、此尾課長、村田副主幹、山崎主事

1 開会挨拶（高田教育長）

点検評価委員会は、教育委員会の行っている施策について、市民への説明責任を果たすことを目的としている。各課で自己評価したものを、委員の皆様からご指摘、ご意見をお願いしたい。この結果は、南砺市ホームページへ掲載し、議会で議員の皆様にお伝えすることとしている。

2 委員長選出

南砺市点検評価委員会設置要綱により、委員長に谷口委員を互選した。

3 報告書の説明

4 質疑・意見

重点施策の主な取組みの「魅力ある芸術文化活動の振興」に「市美術連盟組織化への検討」とあるが、平成27年12月に各連盟が集まり、「南砺市美術連合会」を発足した。

学校のトイレの洋式化について、和式トイレを少し残すほうがよいと思うが、100%の洋式化を目標としているのか。

現在、小中学校の大規模改修工事などでは、和式トイレは設置していない。和式トイレが必要な子どもたちがいれば、設置するようにしている。

自然災害時に、社会体育施設などは避難所となるので、電源を確保する必要があるのではないか。耐震補強などの改修時に非常用の発電機の整備を加えてはどうか。

一般的な避難施設には発電機は設置していない。緊急時には移動式の発電機で対応したい。

スマホについて、どれくらいの子どもたちが所持しているのか。

平成26年度末の調査では、小学生で2～3割、中学生では1年生が最も多く、約4割が所持していた。調査から1年半経っているので、所持率はもっと上がっていると思う。マナーを身に付けることが大切だ。

庵唄の技術向上と後継者育成のため、邦楽界の第一人者の方から、福光などの町内会にも指導してもらうのは良いことだ。

平・上平全地域における「五箇山景観条例」では、建物などを補修や改築をすることに補助金を交付するのか。

補助金を交付するのではなく、五箇山の景観にふさわしい建造物等の色や高さ、形態について規制するものである。

4 閉会挨拶（河合職務代理者）

本日はさまざまなご意見をいただき、ありがとうございました。施設の数など、見た目で見分けること以外にも、心の問題、いじめやスマホ等、教育に関わるさまざまな問題がある。

今後、施策の評価が「A」（施策が順調に推移している）と言えるように、教育委員会の事業を進めていくことが大切である。